

# 石狩・後志・南空知・胆振・日高地域の概要



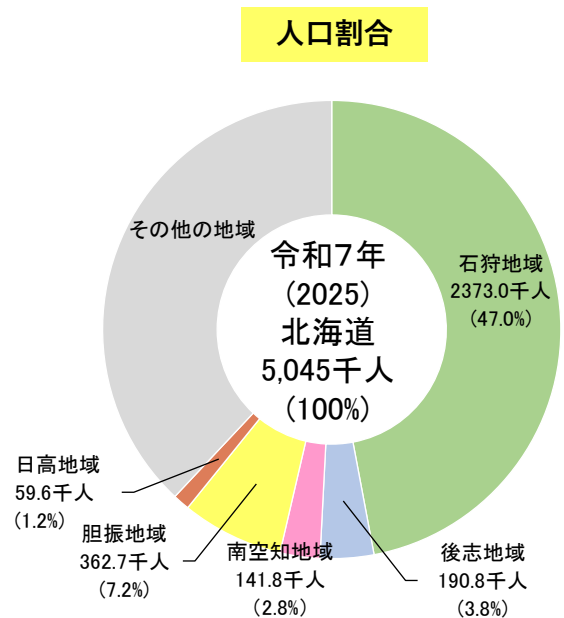
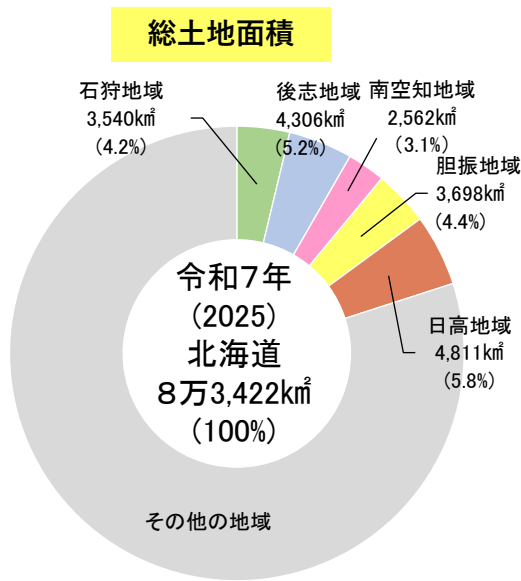
**北海道農政事務所  
札幌地域拠点**



## 第1 地域の概況(続き)

- ◇総土地面積は1万8,917km<sup>2</sup>（石狩3,540km<sup>2</sup>、後志：4,306km<sup>2</sup>、南空知：2,562km<sup>2</sup>、胆振：3,698km<sup>2</sup>、日高：4,811km<sup>2</sup>）で、北海道の22.7%（同：4.2%、同：5.2%、同：3.1%、同：4.4%、同：5.8%）を占めている。
- ◇総人口は約312.8万人（同：237.3万人、同：19.1万人、同：14.2万人、同：36.3万人、同：6.0万人）で、北海道の総人口の62%を占めている。石狩地域は約237万人で、北海道の47%を占めており、うち札幌市の人口は約196万人で、（拠点管内の）62.5%を占めている。

\*「南空知地域」の値は、南空知地域の市町村を合算（秘匿措置が講じられている市町村を除く。）したものである。（また、他のページについても同様である。）



資料：国土交通省国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(令和7年7月1日)」  
注：四捨五入のため、計と内訳が一致しない場合がある。(以下同じ。)

資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和7年1月1日)」

## 第2 農業の概要

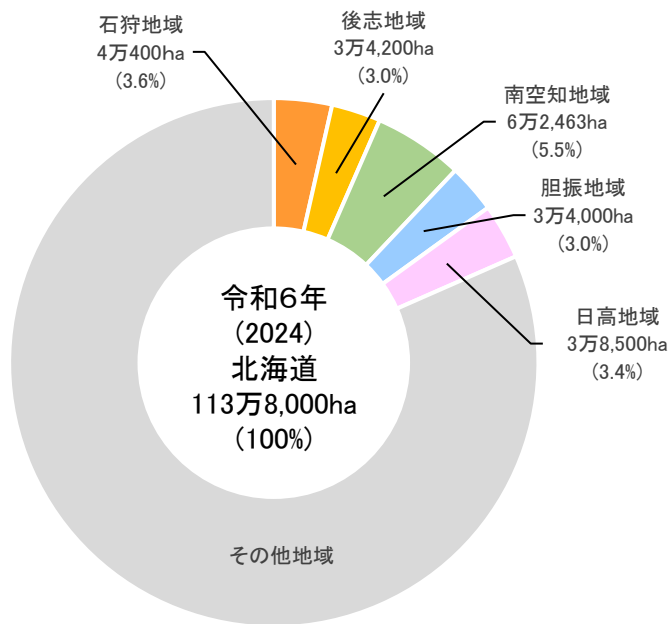
- ◇耕地面積は北海道の約2割を占めており、田は道内の約4割、畑は道内の約1割を占めている。また、それぞれの地域の気象条件を活かした多種多様な農業経営が展開されている。
- ◇「石狩地域」では、稲作を主体に、小麦、大豆、野菜、花きとの複合経営化が進んでいる。
- ◇「後志地域」の南部では畜産、北部では果樹作や施設園芸作（ミニトマト）を中心とする、幅広い農業生産が行われている。
- ◇「南空知地域」は、北海道有数の水稻の作付地帯であり、近年は、省力化、低コスト化を目指した「直播栽培」の面積が増加している。また、品種改良や栽培技術の向上等により、子実用とうもろこしの栽培体系が確立したこともあり、国産濃厚飼料の自給率向上に寄与している。
- ◇「胆振地域」では、温暖な気象条件を活かした露地野菜、高級菜豆、果樹などの多様な作物が生産されている。
- ◇「日高地域」は、全国一の軽種馬生産地であるばかりでなく、北海道としては温暖な気候を活かしたトマト、ピーマン、夏いちごなどの生産も盛んである。

# 1 農業構造の状況

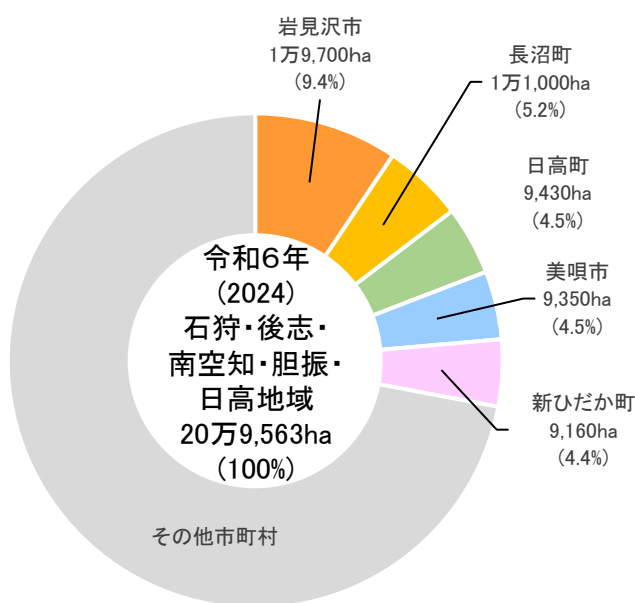
## 耕地面積（1）

- 耕地面積は20万9563ha（石狩：4万400ha、後志：3万4,200ha、南空知：6万2,463ha、胆振：3万4,000ha、日高：3万8,500ha）で、北海道の18.4%（同：3.6%、同：3.0%、同：5.5%、同：3.0%、同：3.4%）を占めている。
- 市町村別の耕地面積は、大きい順で、岩見沢市、長沼町、日高町、美唄市、新ひだか町の順となっている。
- なお、作付面積でみると、全地域において水稻の作付面積が大きな割合を占めている。

### 耕地面積の割合



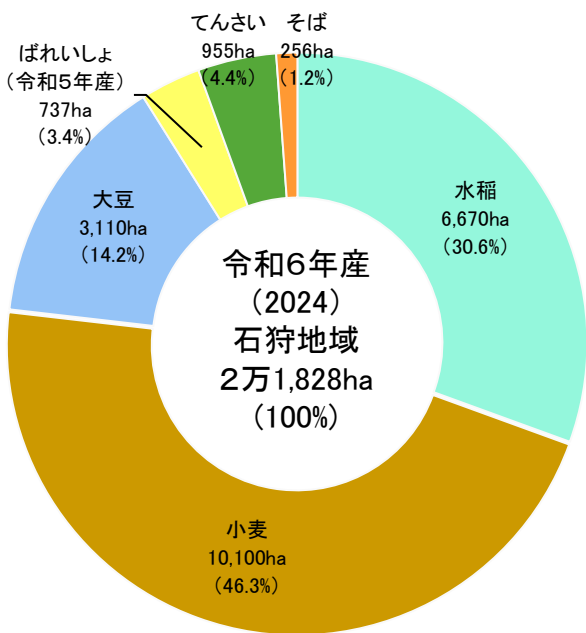
### 市町村別の耕地面積割合



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」、「農林水産関係市町村別統計」

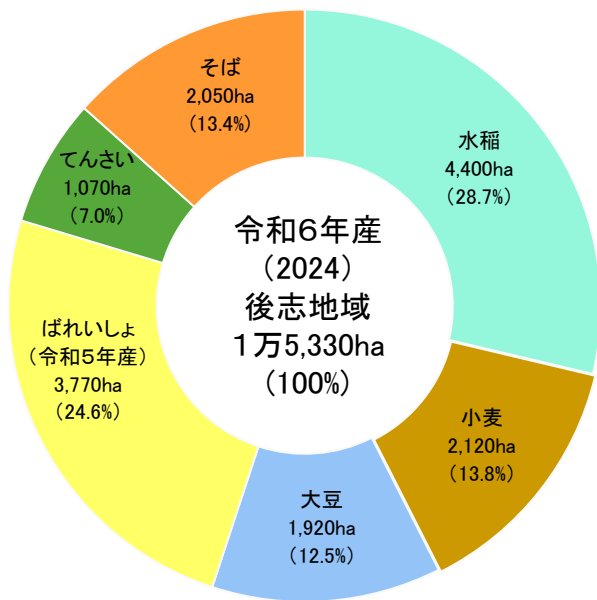
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

### 「石狩地域」主要農作物の作付面積



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」  
注：ばれいしょは、令和5年産の値である。

### 「後志地域」主要農作物の作付面積

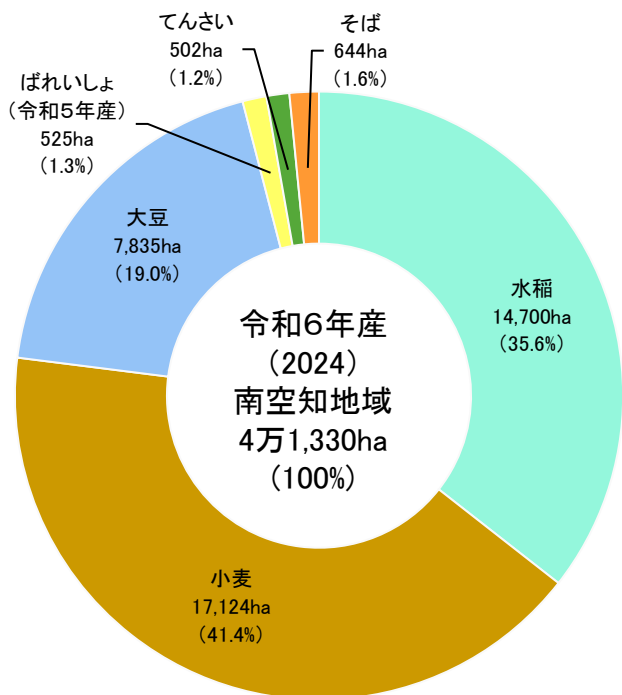


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」  
注：ばれいしょは、令和5年産の値である。

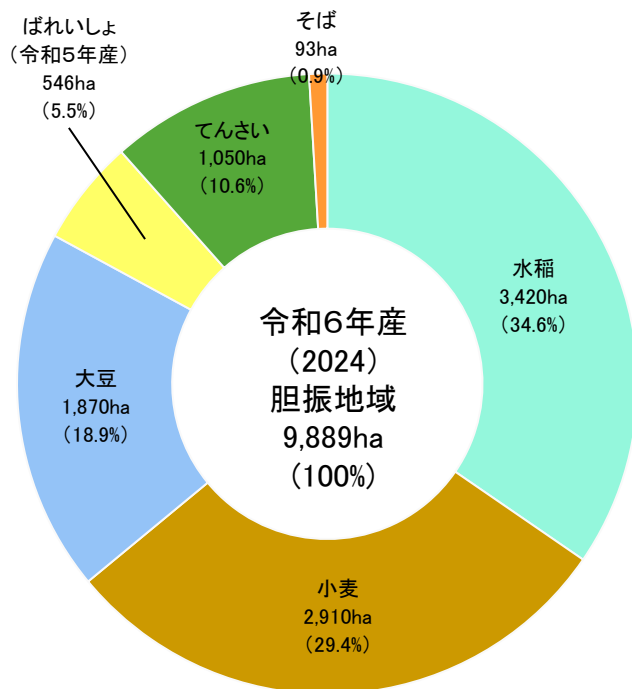
# 1 農業構造の状況

## 耕地面積（2）

### 「南空知地域」主要農作物の作付面積



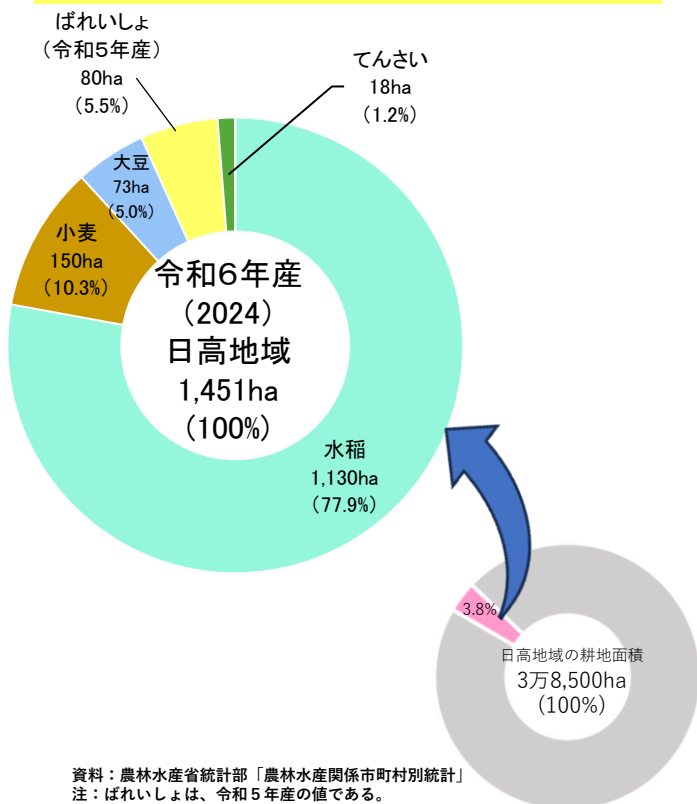
### 「胆振地域」主要農作物の作付面積



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」  
注1：水稲の作付面積は、作柄表示地帯の数値である。  
注2：ばれいしよは、令和5年産の値である。

資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」  
注：ばれいしよは、令和5年産の値である。

### 「日高地域」主要農作物の作付面積



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」  
注：ばれいしよは、令和5年産の値である。

### トピック

子実用とうもろこしは、連作障害の軽減、労働時間の短縮や国産飼料増産に伴う食料自給率向上を目的として南空知地域や胆振東部地区を中心に生産が拡大しています。



子実用とうもろこしを刈り取ります。



刈り取った子実用とうもろこしをトラックで運搬します。



子実用とうもろこしを乾燥させます。

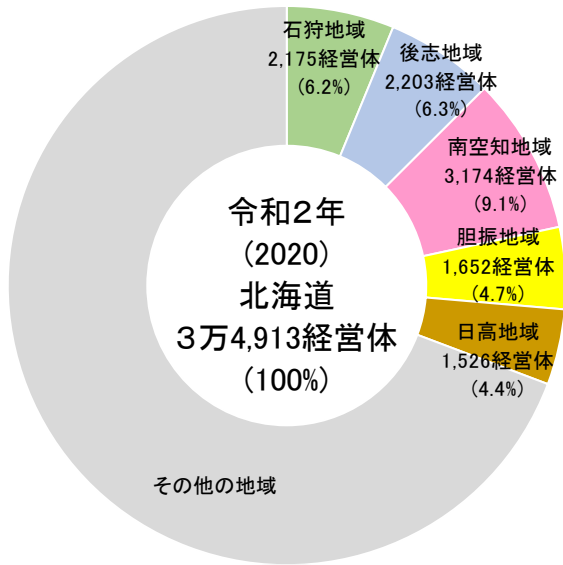


乾燥調製した子実用とうもろこしをサイロで保管します。

## 農業経営体

- 農業経営体数は1万730経営体（石狩：2,175経営体、後志：2,203経営体、南空知：3,174経営体、胆振：1,652経営体、日高：1,526経営体）で、北海道の30.7%（同：6.2%、同：6.3%、同：9.1%、同：4.7%、同：4.4%）を占めている。
- 農業経営体数は、2010年（1万4,502経営体）から2020年（1万730経営体）の10年間で、3,772経営体が減少。
- 農産物販売金額1位の部門別経営体数割合は、稲作（30.4%）、露地野菜（15.6%）、施設野菜（13.1%）の順となっている。
- 個人経営体における年齢別農業従事者は、60歳以上が全体の56.3%となっている。

## 農業経営体数の割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

## 農業経営体数の推移

### <個人経営体>

	石狩	後志	南空知	胆振	日高
2010年	2,757	2,758	4,038	2,036	1,554
2015年	2,270	2,345	3,386	1,751	1,402
2020年	1,910	2,016	2,810	1,452	1,116

### <団体経営体>

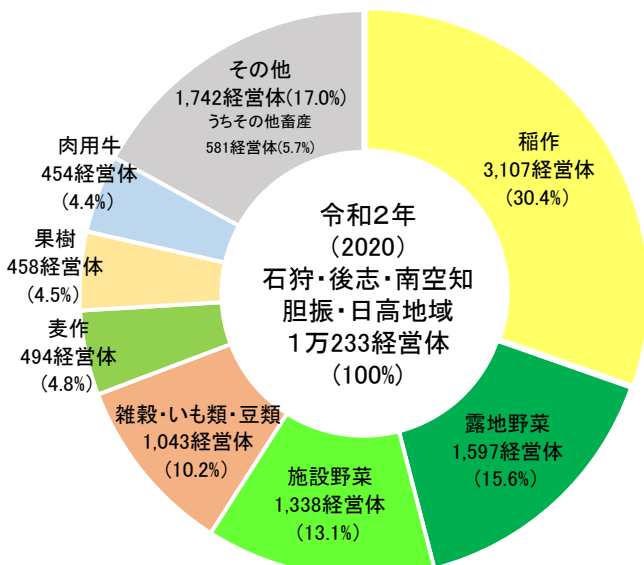
	石狩	後志	南空知	胆振	日高
2010年	245	138	297	203	476
2015年	277	162	330	200	443
2020年	265	187	364	200	410

### <農業経営体計>

	石狩	後志	南空知	胆振	日高
2010年	3,002	2,896	4,335	2,239	2,030
2015年	2,547	2,507	3,716	1,951	1,845
2020年	2,175	2,203	3,174	1,652	1,526

資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

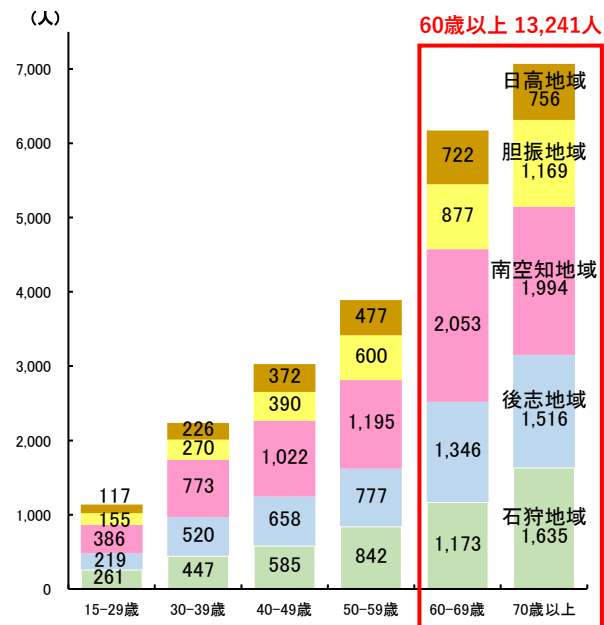
## 農産物販売金額1位の部門別経営体数割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

## 年齢別農業従事者数（個人経営体）

\* 令和2(2020)年 農業従事者数 計23,533人

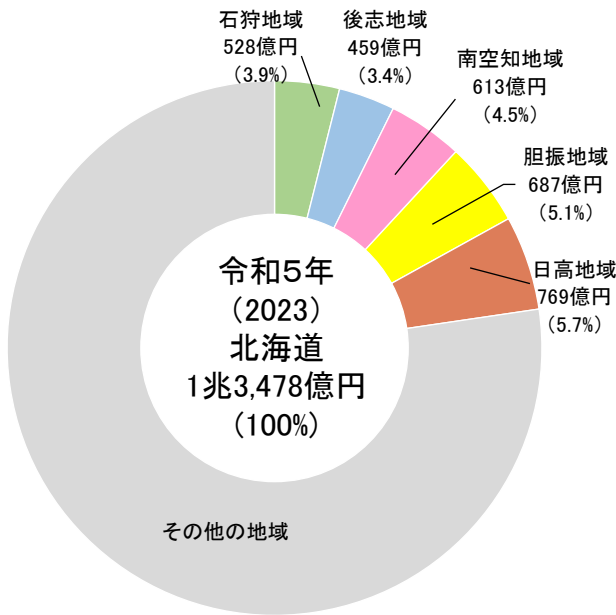


資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

## 農業産出額（1）

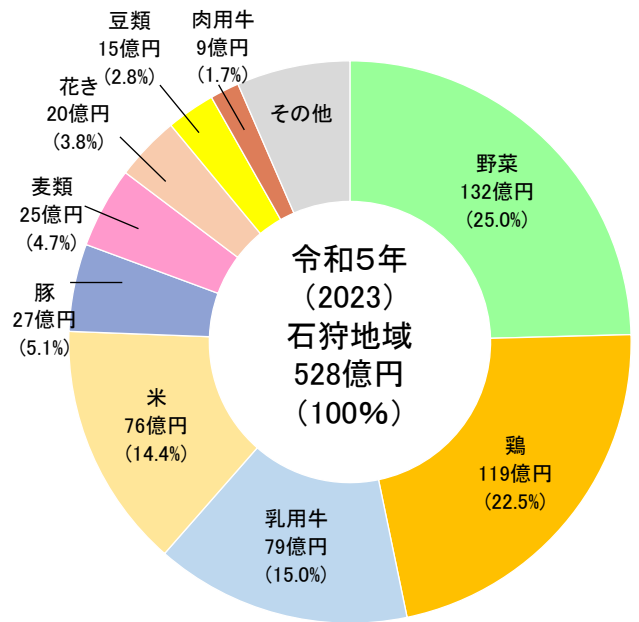
- 農業産出額は3,056億円（石狩：528億円、後志：459億円、南空知：613億円、胆振：687億円、日高：769億円）で、北海道の22.7%（同：3.9%、同：3.4%、同：4.5%、同：5.1%、同：5.7%）を占めている。
- 品目別農業産出額では、野菜の産出額が多く、主な主要農作物である米（水稻）を合わせると、石狩地域は約4割、後志地域は約5割、南空知地域は約7割を占めている。また、石狩地域では畜産物も大きな割合を占めている（4割強）。

### 農業産出額の割合



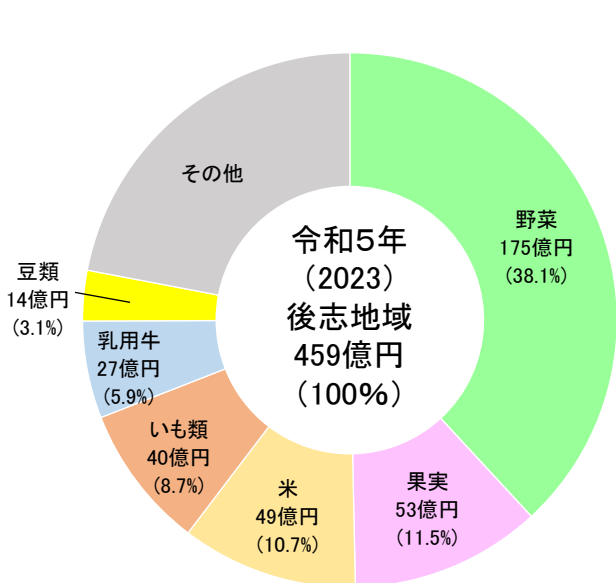
資料：農林水産省「生産農業所得統計」「市町村別農業産出額（推計）」

### 「石狩地域」品目別農業産出額の割合



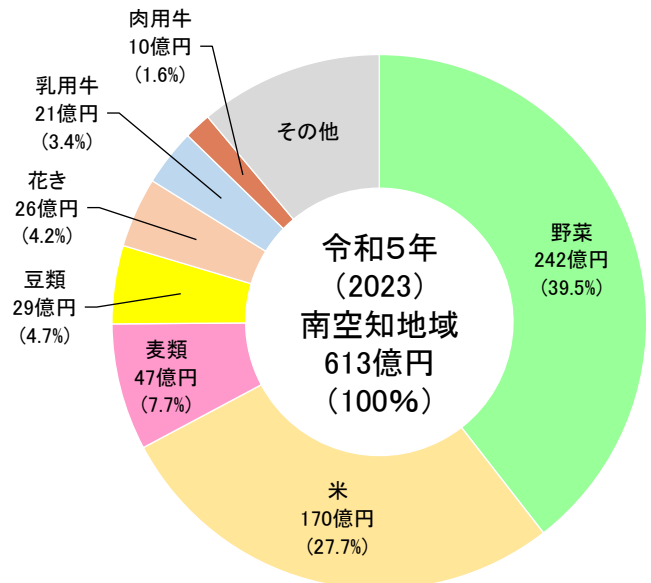
資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」  
 注1：その他には、雑穀・いも類・果実・工芸農作物・その他作物・その他畜産物が含まれている。  
 注2：鶏は鶏卵、ブロイラー、産鶏等である（以下同じ）。

### 「後志地域」品目別農業産出額の割合



資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」  
 注1：その他には、麦類・雑穀・花き・工芸農作物・その他作物・肉用牛・豚・鶏・その他畜産物が含まれている。

### 「南空知地域」品目別農業産出額の割合

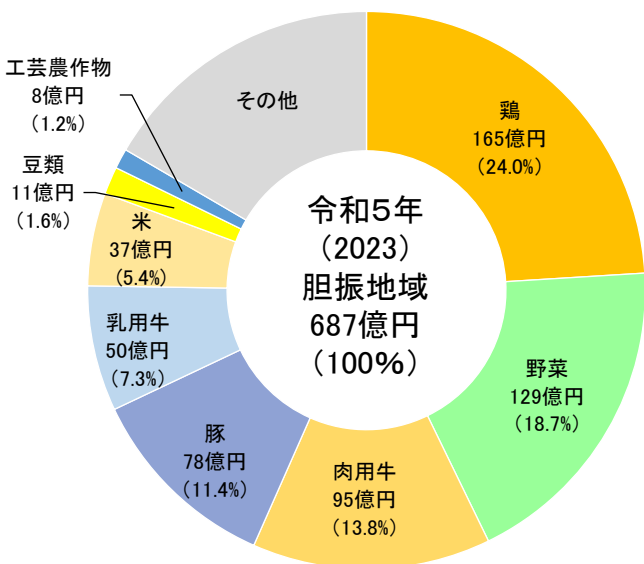


資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」  
 注1：品目別農業産出額の値は、南空知地域の市町村を合算したものである（秘匿措置が講じられている市町村を除いている。）  
 注2：その他には、雑穀・いも類・果実・工芸農作物・その他作物・豚・鶏・その他畜産物が含まれている。

## 農業産出額（2）

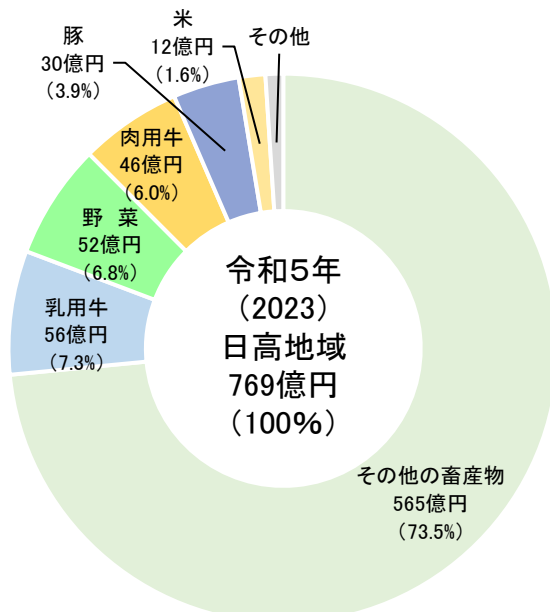
- 胆振地域、日高地域における品目別農業産出額では、畜産物が大きな割合を占めている。胆振地域は、鶏、肉用牛、乳用牛、豚を合わせて半分以上を占めている。日高地域は、乳用牛、肉用牛、豚、その他畜産物を合わせて約9割を占めている。
- 農業産出額の多い市町村は、新ひだか町（道内15位）、日高町（道内16位）、岩見沢市（道内17位）、新冠町（道内25位）、浦河町（道内27位）の順となっている。

### 「胆振地域」品目別農業産出額の割合



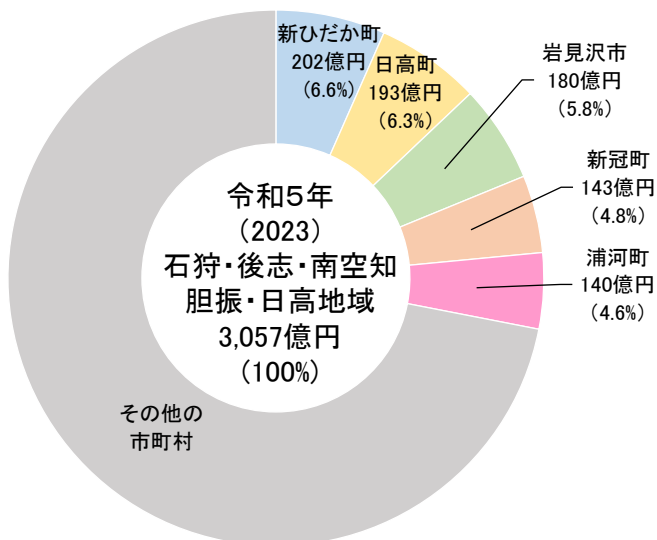
資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」  
注：その他には、麦類・雑穀・いも類・果実・花き・其他作物・其他畜産物が含まれている。

### 「日高地域」品目別農業産出額の割合



資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」  
注1：その他畜産物は、軽種馬等である。  
注2：その他には、麦類・雑穀・豆類・いも類・果実・花き・工芸農作物・其他作物・鶏が含まれている。

### 市町村別の農業産出額割合



資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」



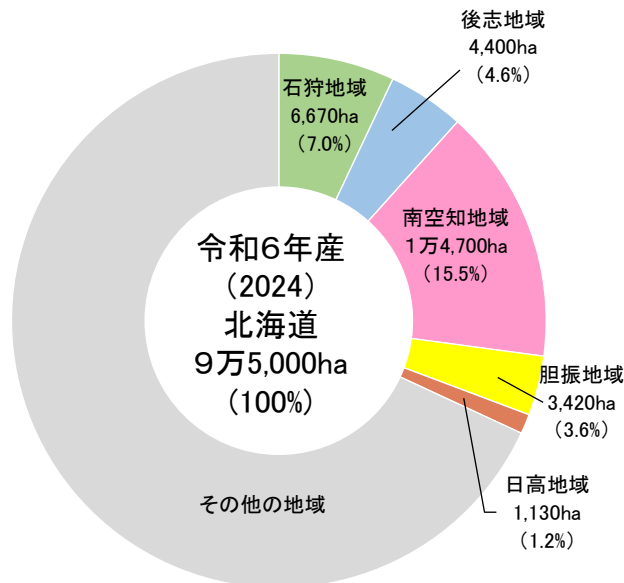
日高地域の軽種馬

## 2 主要農畜産物の生産等の状況

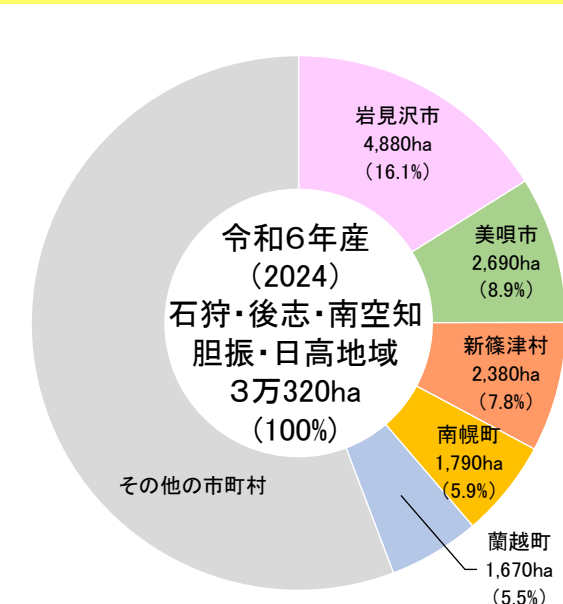
### 水稲

- ・作付面積は3万320ha（石狩：6,670ha、後志：4,400ha、南空知：1万4,700ha、胆振：3,420ha、日高：1,130ha）で、北海道の31.9%（同：7.0%、同：4.6%、同：15.5%、同：3.6%、同：1.2%）を占めている。
- ・市町村別の作付面積は、大きい順で、岩見沢市（道内3位）、美瑛市（道内6位）、新篠津村（道内9位）、南幌町（道内17位）、蘭越町（道内18位）の順となっている。
- ・収穫量は17万990t（同：3万7,800t、同：2万4,100t、同：8万5,000t、同：1万8,200t、同：5,890t）で、北海道の30.4%（同：6.7%、同：4.3%、同：15.1%、同：3.2%、同：1.0%）を占めている。
- ・令和6年産水稲の作付面積は、前年産に比べて石狩（210ha増加）、後志（150ha増加）、南空知（500ha増加）、胆振（60ha増加）、日高（10ha増加）の5地域で増加し、減少地域はなかった。

#### 作付面積の割合



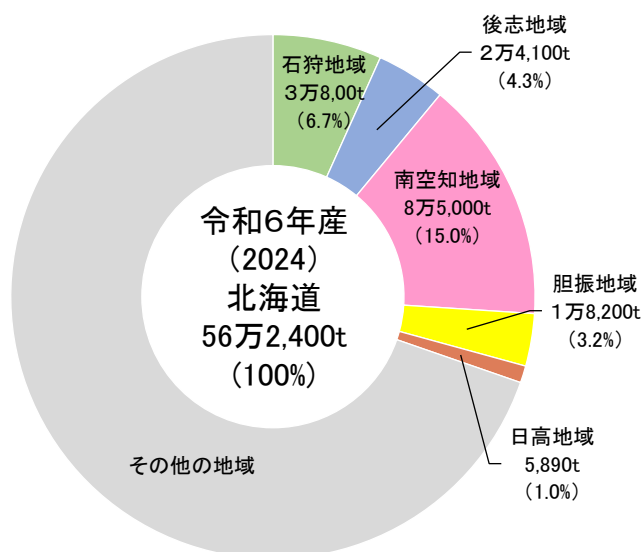
#### 市町村別の作付面積割合



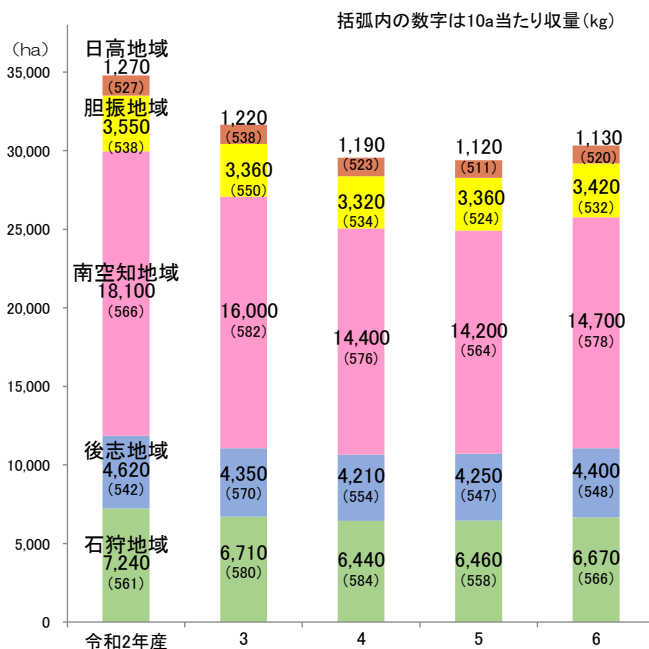
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」  
注：南空知地域の作付面積は作柄表示地帯の数値である。

資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

#### 収穫量の割合



#### 作付面積・10a当たり収量の推移



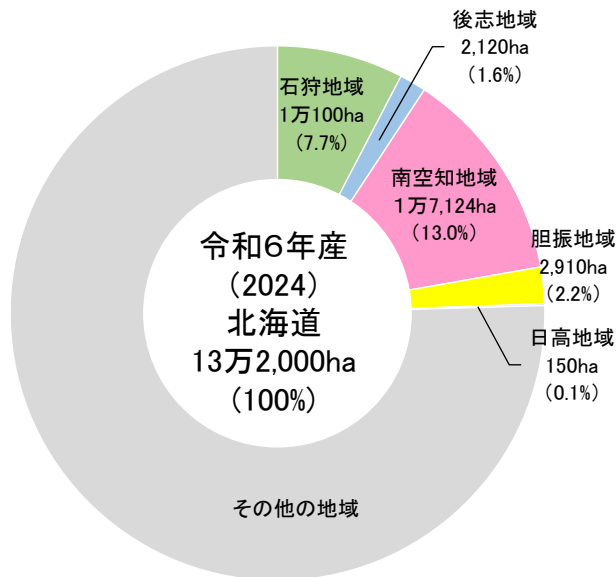
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」  
注：南空知地域の収穫量は作柄表示地帯の数値である。

資料：農林水産省統計部「作物統計」  
注：南空知地域の作付面積は作柄表示地帯の数値である。

## 小麦

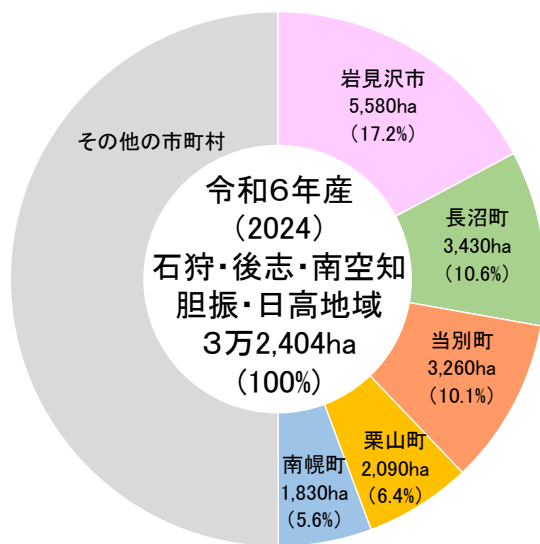
- ・作付面積は3万2,404ha（石狩：1万100ha、後志：2,120ha、南空知：1万7,124ha、胆振：2,910ha、日高：150ha）で、北海道の24.5%（同：7.7%、同：1.6%、同：13.0%、同：2.2%、同：0.1%）を占めている。
- ・市町村別の作付面積は、大きい順で、岩見沢市（道内4位）、長沼町（道内9位）、当別町（道内11位）、栗山町（道内22位）、南幌町（道内25位）の順となっている。
- ・収穫量は16万996t（同：4万6,600t、同：9,000t、同：9万820t、同：1万3,900t、同：676t）で、北海道の22.5%（同：6.5%、同：1.3%、同：12.7%、同：1.9%、同：0.1%）を占めている。
- ・令和6年産小麦の作付面積は、前年産に比べて、石狩（100ha増加）、後志（30ha増加）、胆振（190ha増加）、日高（7ha増加）の4地域で増加し、南空知（13ha減少）で減少した。

### 作付面積の割合



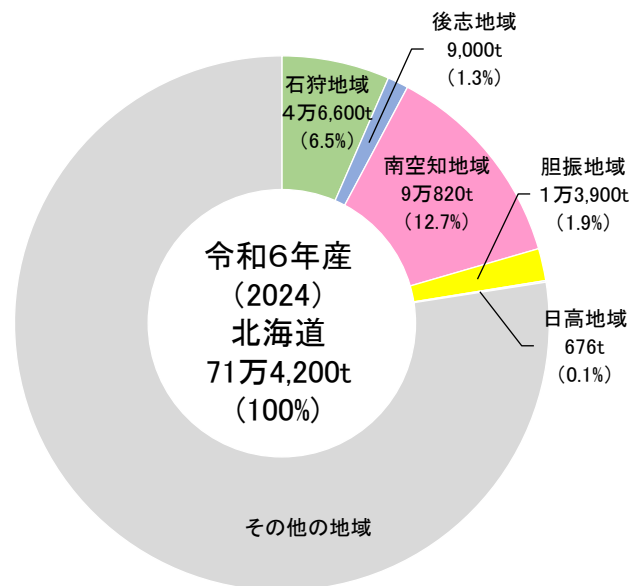
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

### 市町村別の作付面積割合



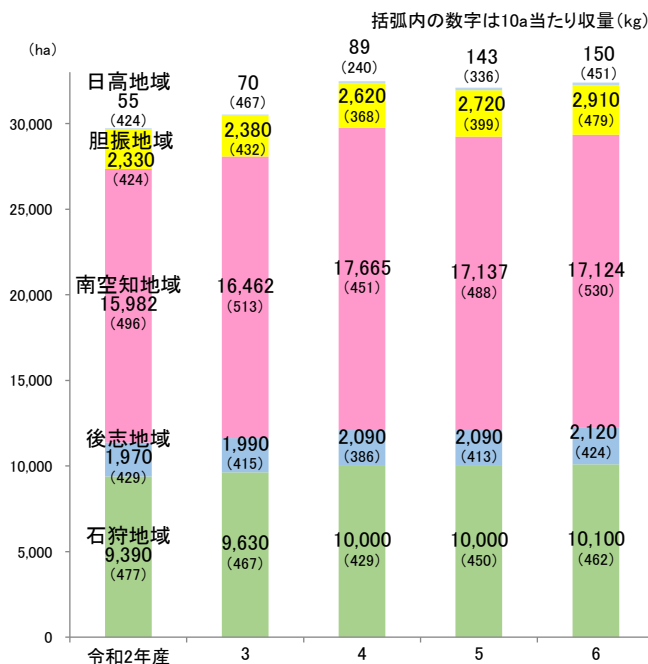
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

### 収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

### 作付面積・10a当たり収量の推移

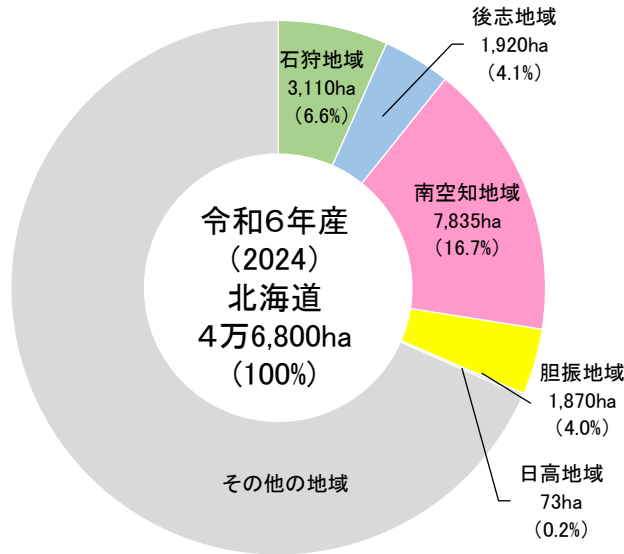


資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」  
注：南空知地域における10a当たり収量は、「農林水産関係市町村別統計」で公表されている各市町村の数値を合算し、除したものである。

## 大豆

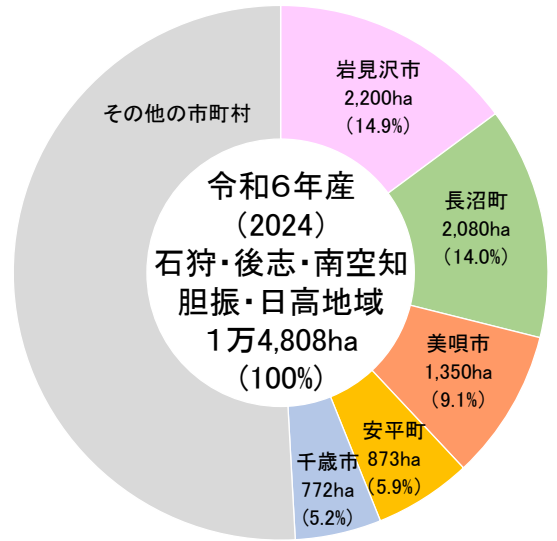
- 作付面積は1万4,808ha（石狩：3,110ha、後志：1,920ha、南空知：7,835ha、胆振：1,870ha、日高：73ha）で、北海道の31.6%（同：6.6%、同：4.1%、同：16.7%、同：4.0%、同：0.2%）を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順で、岩見沢市（道内3位）、長沼町（道内4位）、美唄市（道内6位）、安平町（道内12位）、千歳市（道内18位）の順となっている。
- 収穫量は4万1,002t（同：9,070t、同：4,620t、同：2万2,345t、同：4,770t、同：197t）で、北海道の31.0%（同：6.9%、同：3.5%、同：16.9%、同：3.6%、同：0.1%）を占めている。
- 令和6年産大豆の作付面積は、前年産に比べて後志（40ha増加）、胆振（20ha増加）、日高（10ha増加）の3地域で増加し、石狩（20ha減少）、南空知（336ha減少）の2地域で減少。

### 作付面積の割合



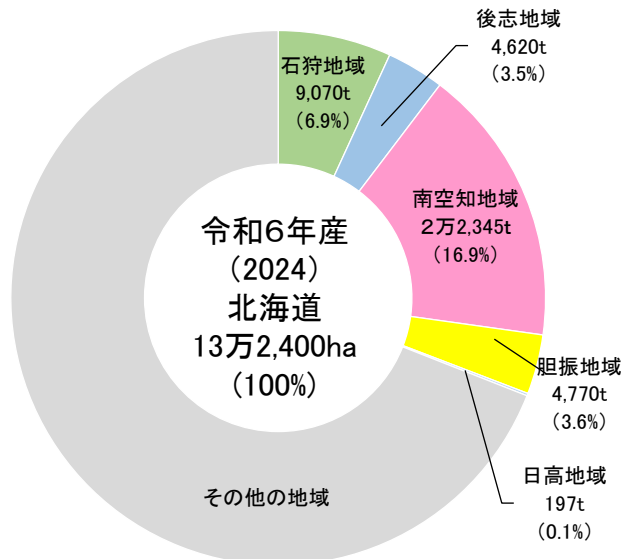
資料：農林水産省統計部「作物統計」、 「農林水産関係市町村別統計」

### 市町村別の作付面積割合



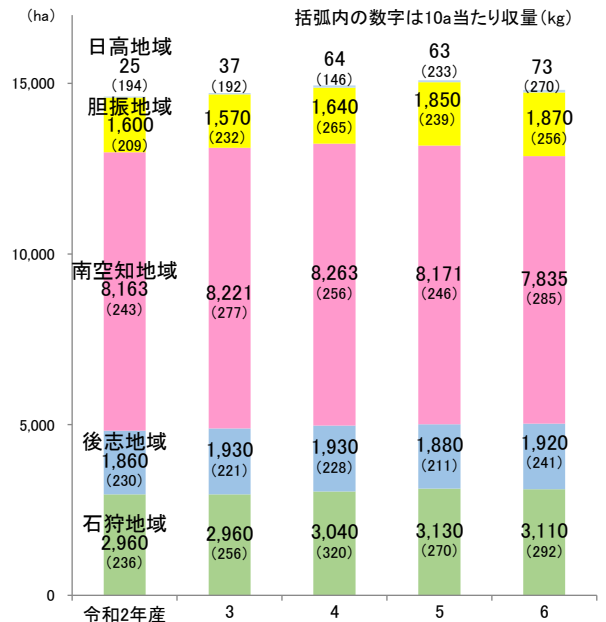
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

### 収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、 「農林水産関係市町村別統計」

### 作付面積・10a当たり収量の推移

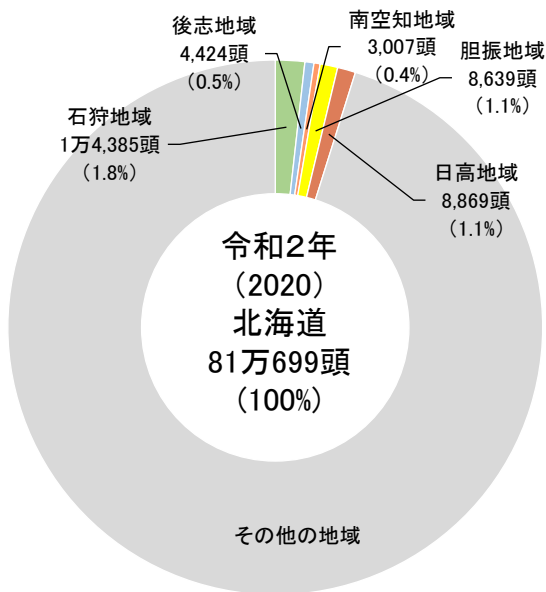


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」  
注：南空知地域における10a当たり収量は、「農林水産関係市町村別統計」で公表されている各市町村の数値を合算し、除したものである。

## 乳用牛

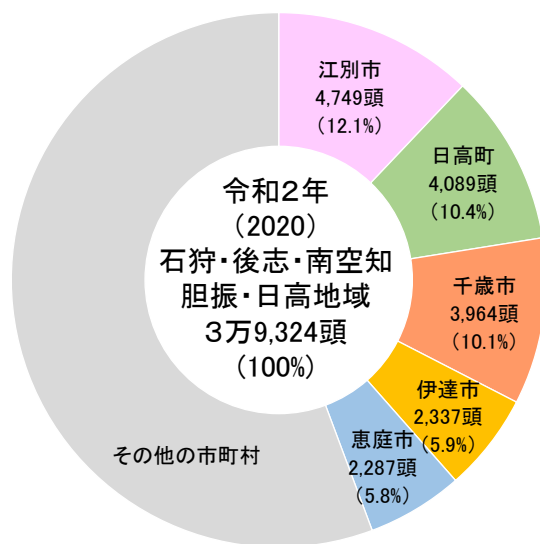
- 飼養頭数は3万9,324頭（石狩：1万4,385頭、後志：4,424頭、南空知：3,007頭、胆振：8,639頭、日高：8,869頭で、北海道の4.9%（同：1.8%、同：0.5%、同：0.4%、同：1.1%、同：1.1%）を占めている。
- 市町村別の飼養頭数は、大きい順で、江別市、日高町、千歳市、伊達市、恵庭市の順となっている。
- 牧草専用地の面積は3万4,420ha（同：4,559ha、同：3,181ha、同：1,220ha、同：6,961ha、同1万8,499ha）で、北海道の8.3%（同：1.1%、同：0.8%、同：0.3%、同：1.7%、同：4.4%）を占めている。
- 2020年の1経営体当たり飼養頭数は、10年前の2010年と比べて石狩（42頭増加）、後志（14頭増加）、南空知（3頭増加）、胆振（18頭増加）、日高（14頭増加）の全ての地域で増加している。

### 飼養頭数の割合



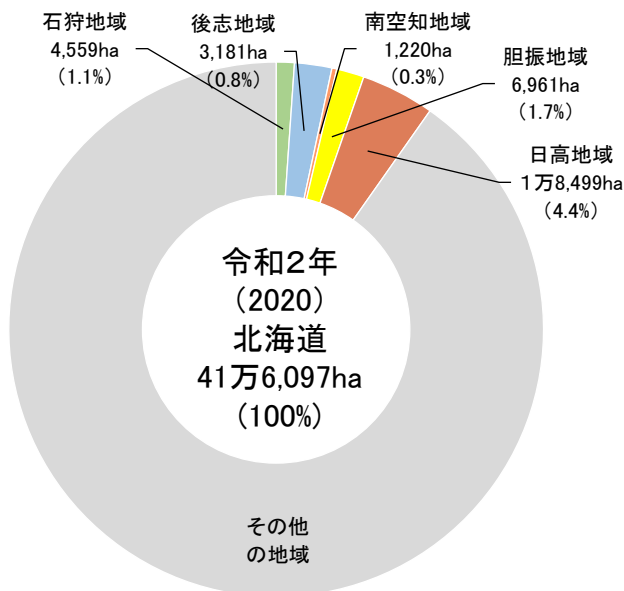
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

### 市町村別の飼養頭数



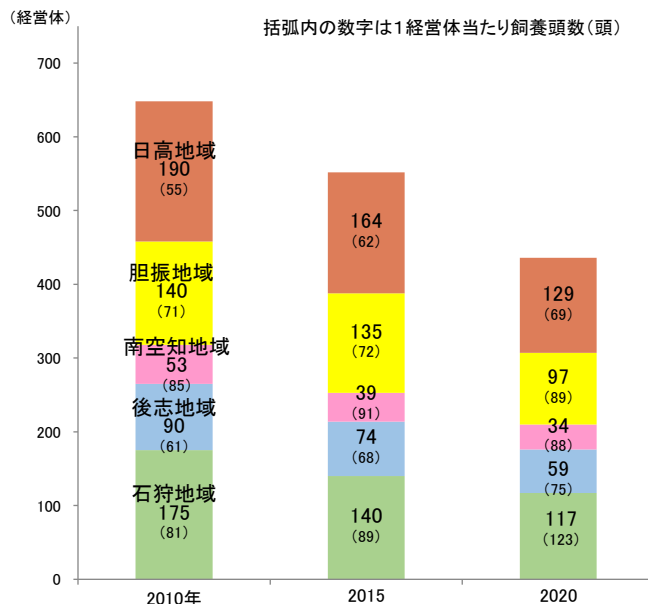
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

### 牧草専用地面積の割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

### 飼養経営体数・1経営体当たり飼養頭数の推移

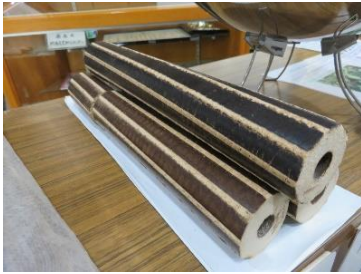


資料：農林水産省統計部「農林業センサス」  
注：1経営体当たり飼養頭数は、「農林業センサス」の乳用牛飼養経営体数と飼養頭数により算出している。

## 第3 地域の取組事例

### 1 地産地消・再生可能エネルギー

#### 蘭越町



【もみ殻燃料棒】



【実証栽培を行うビニールハウス】

#### もみ殻の有効活用で再生可能エネルギーの地産地消を目指す 【蘭越町】

蘭越町は、米の収穫後に廃棄物となっていたもみ殻の有効活用と冬季の農業収入確保を目的として、「もみ殻熱利用実証プロジェクト推進事業」を実施しています。

町内の米農家から回収したもみ殻を、専用の機械を使い10分の1に圧縮して薪状の燃料棒を製造。製造した燃料棒は、冬季の野菜実証栽培を行っているビニールハウス内を加温するボイラーの燃料として使用するほか、家庭・レジャー用として、町内の「道の駅」等で販売しています。

この燃料を使用して栽培された野菜は、道の駅や町内外のスーパーなどに出荷・販売されるほか、町内の学校給食にも提供されています。

### 2 バイオマス・農福連携

#### 石狩市



【ふれあいきのこ村管理棟】



【菌床に生えているシイタケ】

#### ごみ焼却施設の排熱を利用した農福連携の取組 【社会福祉法人 はるにれの里 ふれあいきのこ村】

昭和62年、社会福祉法人はるにれの里が厚田村（現石狩市厚田区）に設立した障がい者支援施設において、入所から地域生活に移行する利用者の働く場所を模索していたところ、石狩市が設置していたごみ焼却施設の排熱を他事業に利用できないかという話しが持ち上がり、地域の元気な高齢者と施設利用者が継続的に支援を受けながら働ける施設として「ふれあいきのこ村」を開設。

ごみ焼却施設の排熱を利用して菌床シイタケ栽培を始めたが、当初廃棄していた菌床を乾燥後、木質ペレットに加工し暖房用燃料に利用することで、資源を有効利用しています。

## 3 食育

## 新篠津村



【新篠津村産の味噌を使用して調理】

### 地場農産物を活用した給食献立の工夫 【新篠津村学校給食センター】

新篠津村学校給食センターは、新篠津小学校、新篠津中学校及び保育所2か所に約300食の給食を毎日提供しています。

また、小学生を対象に食育の一環として「鉄板焼き給食」を毎年提供しています。北海道の郷土料理であるジンギスカンに新篠津村産の有機栽培・減農薬栽培等の野菜を使用し、地場農産物を味わうことを目的に実施されています。主食となる米は新篠津村産のYES! clean米「ななつぼし」を使用しており、精米したての米が週2回給食センターへ届けられています。

栄養教諭からは「季節の野菜と肉と魚をたくさん食べよう!!」という「鉄板焼き給食」の主題の説明があり、代表児童からは使用されている新篠津村産の野菜等について紹介があるなど、毎年恒例の一大イベントとなっています。



【「鉄板焼き給食」をよそう児童】

## 4 特別栽培農産物

## 恵庭市



【イタリアンパセリの収穫】

### 環境にやさしい生産で各種取組を展開 【有限会社余湖農園】

有限会社余湖農園では、60品目以上の作物を育てていますが、その多くが北海道での農薬・化学肥料の栽培基準の半分以下で栽培した特別栽培農産物となっています。生産したトマト等を使った加工品の製造・販売を行っており、恵庭市のふるさと納税の返礼品にも選ばれ人気となっています。

また、農福連携や外国人労働者の受入れに力を入れ、雇用者の働き方改革にも取り組んでいます。



【トマトジュースと人参ジュース】

## 5 環境・バイオマス

## 岩見沢市



【南光園処理場】

### 下水汚泥を通じて見える循環型社会と自然との共生 【南光園処理場】

南光園処理場は昭和48年から供用開始した岩見沢市の下水処理施設で、岩見沢市では下水処理の工程で発生する下水汚泥を肥料として利用しています。岩見沢市では下水汚泥を農業利用することは自然な考えとして、全量を肥料利用していました。しかし下水道普及率が上昇し、発生する下水汚泥の量が大幅に増加すると全量を利用できなくなり、産業廃棄物として有償で搬出処理を行っていました。資源のロスに加えて、処理費用の増加が問題となりました。

そこで、汚泥利用者へのアンケートをもとに課題の抽出を行い、堆肥盤までの運搬の支援及び堆肥盤からほ場までの運搬・散布支援を実施。また毎年土壌分析等のデータを集め公表することで、生産者及び消費者の不安を払拭する等、課題解決へ向けた対応を繰り返すことで汚泥肥料の利用量が増加していきました。

現在では年間約3,500tの汚泥肥料を全量利用できており、供給量の2倍程度の利用要望がある状態です。産業廃棄物として処理していた頃と比較すると製造・処理等に係る汚泥肥料の運用費用は半額まで減少しています。

地域で発生した人間の排泄物である下水汚泥を肥料として農業利用し、その地域に還元することで、人間を循環体系に組み込み、自然との共生を実現しています。



【汚泥肥料製造の様子（脱水工程）】

## 6 有機農業・農福連携

## 壮瞥町

### 自然を生かし大切に作る有機農業と農福連携 【合同会社自然農業社】

代表の小田大介氏は、就農前から環境問題に関心があり、農業を始めるなら有機農業に取り組みたいと思い、平飼養鶏と有機農業、農福連携を行っている会社に就職しました。約10年間、有機農業と農福連携を学んだ後、就職先の畑作部門を引き継ぐ形で独立し、「合同会社自然農業社」を設立し就労継続支援A型事業所として登録しました。

利用者個々の技能適性に合わせた作業を提供することや、冬期間の作業を確保し利用者の賃金向上を実現することにより利用者の自立を支援するため、豆類の選別作業や大根の加工（切り干し大根）に取り組み、その結果、安定した利益が見込めるようになりました。

有機農業は、気象条件や害虫の大量発生により特定の農産物に与える影響が大きいいため、多種多様な農産物を生産することで、リスクの分散を図り、自然の中で無理なく育てられる農産物を生産しています。



【大豆収穫作業】



【大豆収穫作業】

## 7 輸出促進

## 長沼町



【JAながめま青果集出荷施設】



【出荷に向けた氷詰め作業】

### 長沼産のブロッコリーを世界へ輸出し生産者の所得向上へ 【JAながめま青果集出荷施設】

JAながめまのブロッコリー青果集出荷施設は令和3年から稼働しており、北海道内のブロッコリー施設としては最大規模となります。

ブロッコリーは長沼町内はもとより国内でも増産傾向にあり、国内自給率も上がってきていますが、年間を通すと供給が不足している状況です。

しかし、7月単月で見ると供給過多となり、北海道で1番収穫できる時期にも関わらず販売単価が低下して、農業所得向上につながらない問題がありました。

このため、国内販売のほかに、国産品の供給過剰期の販売価格の確保と農業所得の向上のために、JAながめまはブロッコリーの輸出に取り組むことにしました。

平成30年、シンガポールへ初めての輸出を開始。令和4年からは台湾への輸出も開始し、令和5年6月末には、40フィートコンテナによる大ロットの輸出に成功しました。

海外情勢の変動も大きい中で試行錯誤を繰り返し、令和6年度も輸出に取り組み、輸出数量を増加させています。

## 8 飼料自給率の向上

## 長沼町 他



【刈取り機を装着したコンバイン】



【収穫された子実用とうもろこし】

### 子実用とうもろこし生産の有効性を発信 【北海道子実コーン組合】

日本の濃厚飼料自給率は13%（令和6年度（概算値））と低く、配合飼料の過半を占める「とうもろこし」は、米国及びブラジルからの輸入に依存している現状です。

柳原孝二氏は国産濃厚飼料増産のため、平成24年に子実用とうもろこしの生産を開始。その後、品種改良により栽培期間が短縮されたことと収穫機の能力が向上したことにより、北海道での栽培体系が確立されたため、平成27年3月に柳原氏ら南空知の生産者が中心となり、栽培支援や有利販売を目的とした「北海道子実コーン組合」（代表は柳原氏）を設立しました。

収穫作業実演やシンポジウムを開催し、子実用とうもろこしの作付拡大を図り、国産濃厚飼料の自給率向上に寄与しています。

子実用とうもろこしは、根を深く張ることからほ場の排水改善効果が高くなり、次年度に作付けする小麦や大豆等の輪作作物は収量が増加しています。

また、子実用とうもろこしを給与した畜産物は高級卵やブランド豚肉等としてブランド化されるなど、多方面で有益性が実証されています。

## 9 スマート農業の推進

伊達市



【ICTを活用した研修センター】



【木質ペレット】



【ヒートポンプ】

### 環境に優しいカーボンニュートラル型農業の推進 — ICTを活用した持続可能な農業で地域活性化— 【稀府（まれっぶ）農業研修センター】

伊達市では、全道平均を上回る顕著な高齢化と、担い手不足に起因した農業者の減少による地域農業の衰退からの脱却が喫緊の課題でした。

このため、新規就農を促進すべく、環境に配慮し、伊達市の気候に適した先進的スマート農業の魅力ある営農モデルの構築を目指し、令和4年4月、地域農業の持続的発展と地域活性化を目的とした地域資源活用型農業推進計画を策定しました。

令和5年3月、化石燃料を使用しない熱源システム（地元資源の木質ペレットボイラーと、補助熱源のヒートポンプ）を採用した、カーボンニュートラルを実現する稀府農業研修センターが完成し、連棟型プラスチックフィルムハウス3区画（3,024㎡）において、運営受託事業者による周年栽培の営農を実証中です。

ICT機器の活用により栽培環境や作業管理といった情報をデータ化し、そのデータに基づいた定量的指導で、地域農業の担い手となる人材育成をめざしています。

## 10 新規就農・6次産業化

石狩市



【農園を営む佐々木氏】



【ジェラートの説明をする佐々木氏】

### 廃棄を減らすため、6次産業化に挑戦 【石狩みのりファーム】

石狩みのりファームの佐々木洋実氏は、専門学校や飲食業で働いていましたが、子供が小学生になったタイミングで転職を決意。

「自分で経営したい」「長く働きたい」「ものづくりをしたい」との希望に合致したことから、就農を決めました。

生まれ育った石狩市の農業総合支援センターで2年間ミニトマトに特化した農作業や農業簿記などを学び、第三者継承により2021年4月に就農し石狩みのりファームを設立しました。

石狩みのりファームではミニトマトとブロッコリーを栽培しています。また、市農業総合支援センターでの研修時にミニトマトの実割れが発生し、大量の廃棄がでた経験から、加工品に生かすことはできないかを考え前職の経験を生かして2022年6月にジェラートを開発し、パッケージにも工夫を凝らして商品化しました。

現在、石狩市のふるさと納税の返礼品に採用されています。

## 11 農福連携の取組

## 平取町



【トマトの収穫作業】



【販売会の様子】

農福連携による町内での就労を目指し、地域の関係機関が連携して取り組む作業学習

## 【北海道平取養護学校】

令和5年、北海道平取養護学校内に農業用ハウスが設置されることが決まったことを契機に、町の呼びかけで町農業支援センター、学校後援会、農業改良普及センター、JA及び農家が連携し、農業用ハウス建設の助言からトマトの栽培技術指導まで一貫して学校の作業学習を支援する体制を整備しました。このことにより、町の特産品であるトマトの栽培から販売までの作業学習を行うことが可能になりました。

学校は関係機関の協力のもと生徒の就労先の選択肢になり得るトマト栽培の学習を進めることが可能になり、生徒はトマトの生長に期待感を持って作業に取り組むことができているほか、収穫したトマトのおいしさを実感することで農業の楽しさを知ることができています。また、販売学習ではお客様から声を掛けてもらうことで自覚や意欲が湧いてきており、自ら言葉を発することで人との関わりを持つことができるようになってきました。

今後は、トマト栽培に必要な農作業の知識や技能を在学中に身につけることで、卒業後の進路として町内での就農も選択肢の一つになるよう関係機関の協力を得ながら、卒業後の町内での生活の場の確保をはじめとする諸課題の解決に向け取り組んでいきます。

## 12 農山漁村活性化

## 仁木町



【町内産ワインを楽しむイベント】



【地元生産者とコラボしたランチイベント】

地域を点から線、線から面で取り組む滞在型ワインツーリズム  
【仁木町ワインツーリズム推進協議会】

仁木町ワインツーリズム推進協議会は、ワインツーリズムを活用した滞在型の観光を創出することにより、持続可能な農業・農村を実現するため設立されました。

豊かな自然とブドウ畑が織りなす景観を背景にワイナリーやレストラン・宿泊施設を備え、事業者と町民の交流会の開催など行政・事業者・町民が相互に連携し、地域一丸となって国内外の観光客を増やす取組を行っています。

今後は、多様な宿泊型観光にも対応できる体制づくりと豊富な自然・立地条件を生かした農業・農産加工、自然体験などの体験・交流や地元食材を楽しめる食のコンテンツの開発など関係者が連携しながら仁木町の魅力を発信し、地域活性化につながるよう取り組んでいきます。

## 市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等

市町村	総土地面積		耕地面積						総人口		世帯数		農業 経営体数	
	道内 シェア	道内 シェア	計	道内 シェア	田	道内 シェア	畑	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア
	km <sup>2</sup>	%	ha	%	ha	%	ha	%	人	%	戸	%	経営体	%
<b>石狩地域</b>	<b>3,540</b>	<b>4.2</b>	<b>40,400</b>	<b>3.8</b>	<b>21,100</b>	<b>9.8</b>	<b>19,400</b>	<b>2.1</b>	<b>2,373,015</b>	<b>47.0</b>	<b>1,328,547</b>	<b>47.2</b>	<b>2,175</b>	<b>7.0</b>
札幌市	1,121	1.3	2,490	0.2	164	0.1	2,320	0.3	1,955,678	38.8	1,113,832	39.6	388	1.2
江別市	187	0.2	6,980	0.6	4,340	2.0	2,640	0.3	118,055	2.3	59,860	2.1	335	1.1
千歳市	595	0.7	5,830	0.5	639	0.3	5,200	0.6	97,355	1.9	52,491	1.9	204	0.7
恵庭市	295	0.4	4,230	0.4	2,350	1.1	1,880	0.2	70,446	1.4	36,137	1.3	184	0.6
北広島市	119	0.1	1,890	0.2	434	0.2	1,460	0.2	56,495	1.1	28,394	1.0	102	0.3
石狩市	722	0.9	5,480	0.5	2,250	1.0	3,240	0.4	57,143	1.1	28,708	1.0	302	1.0
当別町	423	0.5	8,420	0.7	6,070	2.8	2,350	0.3	15,113	0.3	7,784	0.3	437	1.4
新篠津村	78	0.1	5,110	0.4	4,830	2.2	283	0.0	2,730	0.1	1,341	0.0	223	0.7
<b>後志地域</b>	<b>4,308</b>	<b>5.2</b>	<b>34,200</b>	<b>3.0</b>	<b>8,500</b>	<b>3.9</b>	<b>25,700</b>	<b>2.8</b>	<b>190,810</b>	<b>3.8</b>	<b>110,516</b>	<b>3.9</b>	<b>2,203</b>	<b>7.1</b>
小樽市	244	0.3	171	0.0	16	0.0	155	0.0	104,432	2.1	60,297	2.1	57	0.2
島牧村	437	0.5	287	0.0	33	0.0	254	0.0	1,246	0.0	744	0.0	29	0.1
寿都町	95	0.1	246	0.0	15	0.0	231	0.0	2,629	0.1	1,554	0.1	8	0.0
黒松内町	346	0.4	3,370	0.3	175	0.1	3,190	0.3	2,446	0.0	1,374	0.0	46	0.1
蘭越町	450	0.5	3,930	0.3	2,920	1.3	1,010	0.1	4,501	0.1	2,460	0.1	245	0.8
二七〇町	197	0.2	2,650	0.2	615	0.3	2,040	0.2	5,551	0.1	3,260	0.1	132	0.4
真狩村	114	0.1	3,000	0.3	14	0.0	2,980	0.3	1,938	0.0	1,002	0.0	125	0.4
留寿都村	120	0.1	2,390	0.2	1	0.0	2,390	0.3	2,018	0.0	1,197	0.0	91	0.3
喜茂別町	189	0.2	1,220	0.1	1	0.0	1,220	0.1	1,928	0.0	1,161	0.0	80	0.3
京極町	231	0.3	2,480	0.2	34	0.0	2,450	0.3	2,776	0.1	1,459	0.1	82	0.3
倶知安町	261	0.3	4,530	0.4	934	0.4	3,600	0.4	17,120	0.3	10,777	0.4	176	0.6
共和町	305	0.4	5,080	0.4	2,560	1.2	2,520	0.3	5,364	0.1	2,761	0.1	318	1.0
岩内町	71	0.1	340	0.0	158	0.1	182	0.0	10,913	0.2	6,382	0.2	25	0.1
泊村	82	0.1	0	0.0	-	-	0	0.0	1,420	0.0	842	0.0	1	0.0
神恵内村	148	0.2	2	0.0	0	0.0	2	0.0	740	0.0	447	0.0	-	-
積丹町	238	0.3	814	0.1	0	0.0	814	0.1	1,702	0.0	983	0.0	23	0.1
古平町	188	0.2	77	0.0	45	0.0	32	0.0	2,589	0.1	1,623	0.1	12	0.0
仁木町	168	0.2	1,460	0.1	700	0.3	761	0.1	3,051	0.1	1,679	0.1	304	1.0
余市町	141	0.2	1,420	0.1	69	0.0	1,350	0.1	16,954	0.3	9,475	0.3	361	1.2
赤井川村	280	0.3	779	0.1	207	0.1	572	0.1	1,492	0.0	1,039	0.0	88	0.3

## 市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等（つづき）

市町村	総土地面積		耕地面積						総人口		世帯数		農業 経営体数	
	道内 シェア		計	道内 シェア	田	道内 シェア	畑	道内 シェア	道内 シェア		道内 シェア		道内 シェア	
	km <sup>2</sup>	%	ha	%	ha	%	ha	%	人	%	戸	%	経営体	%
<b>胆振地域</b>	<b>3,697</b>	<b>4.4</b>	<b>34,000</b>	<b>3.0</b>	<b>8,810</b>	<b>4.0</b>	<b>25,200</b>	<b>2.7</b>	<b>362,735</b>	<b>7.2</b>	<b>203,119</b>	<b>7.2</b>	<b>1,652</b>	<b>5.3</b>
室蘭市	81	0.1	227	0.0	11	0.0	216	0.0	74,855	1.5	43,062	1.5	13	0.0
苫小牧市	562	0.7	1,230	0.1	-	-	1,230	0.1	165,590	3.3	91,421	3.3	51	0.2
登別市	212	0.3	1,030	0.1	0	0.0	1,030	0.1	43,615	0.9	23,891	0.8	36	0.1
伊達市	444	0.5	4,810	0.4	449	0.2	4,360	0.5	31,208	0.6	17,380	0.6	343	1.1
豊浦町	234	0.3	1,900	0.2	140	0.1	1,760	0.2	3,491	0.1	2,021	0.1	86	0.3
杜管町	205	0.2	1,480	0.1	308	0.1	1,170	0.1	2,313	0.0	1,312	0.0	121	0.4
白老町	426	0.5	1,220	0.1	-	-	1,220	0.1	15,095	0.3	9,169	0.3	53	0.2
厚真町	405	0.5	5,570	0.5	3,170	1.4	2,410	0.3	4,227	0.1	2,101	0.1	290	0.9
洞爺湖町	181	0.2	2,540	0.2	126	0.1	2,420	0.3	7,906	0.2	4,742	0.2	133	0.4
安平町	237	0.3	7,420	0.7	1,080	0.5	6,340	0.7	7,214	0.1	3,982	0.1	203	0.7
むかわ町	711	0.9	6,610	0.6	3,520	1.6	3,080	0.3	7,221	0.1	4,038	0.1	323	1.0
<b>日高地域</b>	<b>4,811</b>	<b>5.8</b>	<b>38,500</b>	<b>3.4</b>	<b>4,730</b>	<b>2.1</b>	<b>33,700</b>	<b>3.7</b>	<b>59,647</b>	<b>1.2</b>	<b>33,344</b>	<b>1.2</b>	<b>1,526</b>	<b>4.9</b>
日高町	992	1.2	9,430	0.8	1,060	0.5	8,370	0.9	10,904	0.2	6,227	0.2	312	1.0
平取町	743	0.9	4,660	0.4	1,540	0.7	3,120	0.3	4,435	0.1	2,377	0.1	233	0.7
新冠町	586	0.7	6,960	0.6	452	0.2	6,510	0.7	5,011	0.1	2,797	0.1	231	0.7
浦河町	694	0.8	5,420	0.5	243	0.1	5,180	0.6	11,231	0.2	6,642	0.2	253	0.8
様似町	364	0.4	1,030	0.1	97	0.0	933	0.1	3,777	0.1	2,031	0.1	60	0.2
えりも町	284	0.3	1,830	0.2	-	-	1,830	0.2	4,060	0.1	1,989	0.1	12	0.0
新ひだか町	1,148	1.4	9,160	0.8	1,340	0.6	7,810	0.9	20,229	0.4	11,281	0.4	425	1.4
<b>南空知地域</b>	<b>2,562</b>	<b>3.1</b>	<b>62,463</b>	<b>5.5</b>	<b>50,283</b>	<b>22.8</b>	<b>12,117</b>	<b>1.3</b>	<b>141,788</b>	<b>2.8</b>	<b>77,289</b>	<b>2.7</b>	<b>3,174</b>	<b>10.2</b>
夕張市	763	0.9	713	0.1	141	0.1	572	0.1	6,107	0.1	3,733	0.1	114	0.4
岩見沢市	481	0.6	19,700	1.7	16,300	7.4	3,340	0.4	74,204	1.5	40,440	1.4	881	2.8
美唄市	278	0.3	9,350	0.8	8,680	3.9	668	0.1	18,427	0.4	10,596	0.4	518	1.7
三笠市	303	0.4	1,300	0.1	522	0.2	774	0.1	7,268	0.1	4,385	0.2	67	0.2
南幌町	81	0.1	5,570	0.5	5,140	2.3	426	0.0	7,933	0.2	3,758	0.1	170	0.5
由仁町	134	0.2	5,840	0.5	3,980	1.8	1,850	0.2	4,527	0.1	2,271	0.1	316	1.0
長沼町	169	0.2	11,000	1.0	8,910	4.0	2,110	0.2	9,937	0.2	4,880	0.2	603	1.9
栗山町	204	0.2	5,880	0.5	4,000	1.8	1,880	0.2	10,653	0.2	5,688	0.2	332	1.1
月形町	150	0.2	3,110	0.3	2,610	1.2	497	0.1	2,732	0.1	1,538	0.1	173	0.6

資料：国土交通省国土院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調（令和7年7月1日）」  
 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計（令和6年）」、「2020年農林業センサス」  
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和6年1月1日）」

注1：南空知の計は、各市町の数値を単純に合算したものである。

注2：ラウンドの関係で、計と内訳は一致しない場合がある。

市町村別農業産出額（推計）

単位：1,000万円

市町村	農業産出額		耕 種										畜 産							
	道内 順位	小計	米	麦類	雑穀	豆類	いも類	野菜	工業 農作物	その他 農作物	小計	肉用 牛	乳用 牛	豚	鶏	その他 畜産物				
																	道内 順位	生乳		
<b>石狩地域</b>																				
札幌市	668	70	278	69	2	2	0	1	3	225	0	45	390	64	1	92	82	x	288	x
江別市	820	60	495	32	98	45	0	34	8	285	7	1	325	71	23	281	255	x	7	x
千歳市	1,305	30	383	49	10	40	1	45	19	212	50	7	922	26	29	233	211	123	528	9
恵庭市	516	84	326	59	53	19	1	18	30	169	19	0	190	88	5	80	58	x	74	x
北広島市	532	80	110	105	15	1	0	4	5	77	0	7	423	60	11	63	58	x	298	x
石狩市	435	97	358	52	137	21	1	4	11	161	2	7	77	107	10	31	28	x	0	x
当別町	520	82	478	36	161	81	0	24	6	85	7	1	42	123	15	8	8	x	-	x
新篠津村	485	88	485	33	290	43	0	24	1	108	0	19	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>後志地域</b>																				
小樽市	38	163	38	133	1	-	0	0	0	31	0	4	-	-	-	-	-	-	-	-
島牧村	9	171	6	155	1	-	1	0	0	4	-	0	3	160	3	-	-	-	-	-
寿都町	4	172	2	163	0	0	-	0	1	0	0	0	2	162	0	-	-	x	-	x
黒松内町	341	109	37	134	4	3	6	7	10	3	1	4	304	73	36	59	54	x	0	x
蘭越町	278	128	271	72	179	2	3	6	8	69	1	4	7	151	3	4	x	-	-	-
二セコ町	263	131	175	87	32	3	0	11	24	98	1	6	88	105	2	45	40	-	0	41
真狩村	483	89	336	57	1	5	0	21	55	224	15	0	147	93	6	56	51	x	-	x
留寿都村	378	105	269	73	0	3	-	16	52	182	17	0	109	102	5	5	x	x	-	x
喜茂別町	192	140	125	100	0	1	0	9	28	79	8	2	66	111	-	3	x	x	-	x
京極町	260	132	213	84	0	11	1	22	71	69	13	x	48	120	1	11	x	x	0	x
倶知安町	355	108	293	66	25	14	3	42	126	58	26	1	62	114	2	46	43	x	8	x
共和町	667	71	664	24	177	7	8	9	27	431	1	0	3	158	-	3	x	-	-	-
岩内町	18	169	9	148	8	0	0	0	0	1	0	0	9	147	0	9	9	-	-	-
泊村	0	173	0	169	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神恵内村	0	175	0	172	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
積丹町	41	162	33	135	-	-	1	0	0	30	1	1	8	149	1	7	x	-	0	-
古平町	28	165	4	158	1	-	0	0	0	3	-	0	23	138	-	-	-	x	0	x
仁木町	482	90	482	34	47	-	1	0	0	226	0	191	0	167	-	-	-	0	-	-
余市町	633	74	549	29	3	-	0	0	0	190	0	328	84	106	-	15	x	x	1	x
赤井川村	121	146	76	111	15	-	0	0	2	55	0	2	45	121	3	8	x	x	0	x

市町村別農業産出額（推計）（つづき）

単位：1,000万円

市町村	農業 産出額		耕 種										畜 産							
			小 計		米	麦 類	雑 穀	豆 類	い も 類	野 菜	工 芸 農 産 物	其 他 農 産 物	小 計		肉用牛	乳用牛	豚	鶏	其 他 畜 産 物	
			道内 順位	道内 順位									道内 順位	道内 順位						道内 順位
<b>胆振地域</b>																				
室蘭市	66	156	3	162	1	-	-	0	0	2	0	x	63	112	3	15	x	-	-	46
苫小牧市	335	110	60	119	-	1	-	2	1	48	1	8	275	77	4	36	33	x	-	x
登別市	303	120	2	166	0	-	-	0	0	0	-	2	301	74	91	36	33	x	149	x
伊達市	1,133	37	414	45	17	4	0	8	5	348	17	4	719	37	31	142	129	x	488	x
豊浦町	537	79	63	117	1	1	0	2	4	50	2	3	474	55	79	67	62	328	0	-
壮瞥町	178	142	157	94	12	3	0	4	2	84	2	51	21	140	20	-	-	-	1	-
白老町	1,086	45	9	149	-	-	-	-	-	8	0	x	1,077	20	389	10	x	x	412	x
厚真町	829	59	308	61	165	14	0	28	11	63	13	2	521	50	35	36	33	x	434	x
洞爺湖町	564	77	232	81	6	3	0	13	21	167	18	3	332	69	82	23	22	x	0	x
安平町	1,095	43	240	78	27	27	1	36	9	103	23	15	854	30	130	110	100	x	169	x
むかわ町	750	65	612	27	147	7	1	17	9	415	4	13	138	96	86	22	17	0	1	28
<b>日高地域</b>																				
日高町	1,932	16	130	98	33	-	0	1	5	87	1	3	1,802	8	106	251	230	x	0	x
平取町	602	75	357	53	49	2	0	2	5	297	1	0	245	82	65	54	50	12	-	114
新冠町	1,433	25	62	118	14	0	0	0	0	45	0	1	1,372	14	88	149	140	x	-	x
浦河町	1,402	27	39	132	2	-	0	0	0	24	-	x	1,364	15	48	21	19	-	-	1,295
様似町	280	126	17	140	2	0	-	0	0	14	0	0	263	81	4	7	x	0	-	251
えりも町	26	166	0	172	-	-	-	-	0	-	-	-	26	133	18	4	x	0	-	4
新ひだか町	2,018	15	114	104	20	0	0	0	0	55	0	x	1,904	7	133	74	68	74	-	1,623
<b>南空知地域</b>																				
夕張市	316	114	316	60	1	0	0	0	0	313	1	x	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢市	1,802	17	1,744	6	557	141	3	86	6	831	18	103	59	115	1	53	49	-	2	4
美唄市	548	78	547	30	322	55	3	53	0	49	6	60	1	163	1	-	-	-	0	-
三笠市	278	127	160	93	24	5	0	3	0	112	0	15	118	101	2	11	x	x	-	x
南幌町	422	99	416	44	211	54	0	29	0	106	9	0	7	151	-	6	x	-	0	-
由仁町	565	76	457	37	168	46	0	28	22	157	15	2	108	103	10	84	75	x	13	x
長沼町	1,102	42	833	18	147	101	1	68	9	446	6	16	269	79	48	46	43	x	1	x
栗山町	770	62	641	25	150	53	1	14	24	364	2	34	129	98	17	-	-	x	11	x
月形町	330	112	302	64	122	11	0	13	0	42	2	111	29	131	22	6	6	-	-	1

資料：農林水産省統計部「令和5年市町村別農業産出額（推計）」

注1：「市町村別農業産出額（推計）」は、都道府県別農業算出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分して作成したものである。

注2：その他農作物は、果実、花き及び、その他農作物の計であり、秘匿措置が講じられている品目を除いて単純に合算したものである。

注3：道内順位の順位付けは、原数（100万円）により判定したものである。